

戦争と人権

5月10日に行われた香美市戦没者追悼式で、鏡野中学校3年の山下瑠菜さんが、平和への思いをつづった作文を朗読しました。

「人権」とは何だろう。「人権」と辞書で調べると「人間であるからには、無条件にもっているはずの、基本的な権利。たとえば、生命や自由などを保障される権利、など」というように説明されていた。つまり、「人が生きる権利」ということだ。この「人権」と対極に位置するのが「戦争」だと私は考える。「戦争」は「人が生きる権利」をうばうものだからだ。

私は修学旅行で沖縄へ行った。二日目は一日中平和学習で沖縄戦について詳しく学習した。その中でも一番心に残っているのは、戦争が起こっていた当時も使われていた、クラシンウジヨウ壕に入ったことだ。壕に一步足を踏み入れると、外の光は届かず、目を開けているのか閉じているのかわからないほど、暗闇に包まれていた。中は足場が悪くしん：と静まりかえっていた。その雰囲気があった時の戦争の恐しさや悲惨さをものがたり、身体の内につき刺さってきた。壕の中で聞いた話によると、実際にこ

こでは何人ものが死に、何人ものが眠れない夜を過ごしたという。なにか絵本の物語でも聞かされているような気持ちだった。これが現実なのだろうか。信じられなかった。一分間の黙とうを犠牲になった人達へささげている間、私の耳には、人の苦しむ声、緊張している人達の息のもれる音、外で響く銃の音が聞こえた気がした。当時の人達は、どのような気持ちでこれらの音を聞いていたのだろうか。きつと心の中は悲しみであふれていただろう。だがその悲しみの大きさは、私には想像しきれなかった。修学旅行から帰ってきて、少しした頃、国語の授業で沖縄をテーマにしたレポートを書くという課題が出された。私は「沖縄戦のもとの原因」について調べることになった。どうしてあんな悲惨な事が起こってしまったのか不思議に思ったからだ。図書館で調べていくと、沖縄戦はアジア太平洋戦争の中の戦争で、アジア太平洋戦争は第二次世界大戦の中の戦争だというこ

とを知った。そもそも第二次世界大戦は一九三九年にドイツがおこし、四一年に日本も加わって全世界に広がっていったのである。この時、どうして日本はドイツに協力したのか、それは日中戦争までさかのぼらなければならぬ。日中戦争は日本が日露戦争の時に手に入れた中国の領土をもっと広げようと中国に侵略しにいったことがはじまりである。だが、中国にかえりうちをくらった日本は、ドイツの快しんげきを見て、ドイツに協力し、第二次世

界大戦へとつながり、最終的には沖縄戦へと、つながってしまったのである。このように、戦争は一本の鎖のようにつながっている。この鎖を今断ち切らないと、またたたくさんの人の生きる権利がうばわれることとなるだろう。

人権を大切にしていこうという取り組みが行われている現代でさえ、戦争の卵はそこらじゅうに落ちていく。毎日のニュースでたえることのなく放送されている。子供への虐待、動物への虐待、殺人事件。これら

▲ 参列した遺族の前で作文を朗読する山下さん



は全て、戦争の卵だということをおぼろげに感じたい。この卵をふ化させてはいけぬ。もう二度とあの悲惨なことは起こさない為に。もう一度、「人権」の意味について振り返ってみよう。「人間であるからには、無条件にもっているはずの基本的な権利」だと冒頭に述べたが、私はこの文の中にある「もっているはず」という言葉に違和感を覚えた。「もっているはず」ということは、今は失われているかもしれないという意味がこめられているかもし

れない。辞書にこのような言葉が載っているのだから。人権の侵害が広がっているから、このような書き方をしたのではないかと私は考えていた。

この人権侵害をおさえる為に私たちは、日頃から細かな事にも気を配り、思いやりの心を忘れずに、生活をしたいかれないといけぬと思つた。なぜなら、相手の心を思いやることで、争いのない自由で平等な世界が広がると思つたからだ。そしてこれから私達は、過去の自分達の誤つた行い

を忘れてはならない。私達平和学習委員が作成した平和の誓いにもあるように、「戦争を知らない私たちが一人でも多くの方の記憶に耳を傾け、過去に学び未来を創っていく」ことを大切にしていけば、人の生きる権利をうばうものは、自然と消え、人権も大切にされ、平和な社会が築かれていくだろう。

これまで学習してきたことを生かし、人権尊重の輪を広げていきたいと思つた。

(鏡野中3年 山下瑠菜)

香美市の平和活動

非核・平和宣言都市

核兵器の廃絶と平和を願う全ての人々と相携えて行動することを決意し、平成18年5月25日、『非核・平和都市』宣言を行い、『日本非核宣言自治体協議会』に加入しました。

平和市長会議への加盟

平成22年1月1日に『核兵器廃絶に向けての都市連帯推進計画』に賛同する世界各国の都市で構成されている平和市長会議に加盟しています。

香美市戦没者追悼式

市では、毎年、戦没者の追悼式を行っています。今年は、5月10日に中央公民館で行いました。

参列した人たちは、戦争の悲惨さと平和の尊さを未来へと語り継ぎ、心豊かな社会を築いていくことを改めて誓い、戦争で尊い命を落とされた方々のご冥福を祈りました。



ヒロシマ・ナガサキ被爆ポスター展

8月1日～30日まで、市役所1階ロビー・香北支所・物部支所で『ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター展』を開催します。

黙とうをささげましょう

広島市原爆投下時刻
8月6日午前8時15分
長崎市原爆投下時刻
8月9日午前11時2分
終戦記念日
8月15日正午